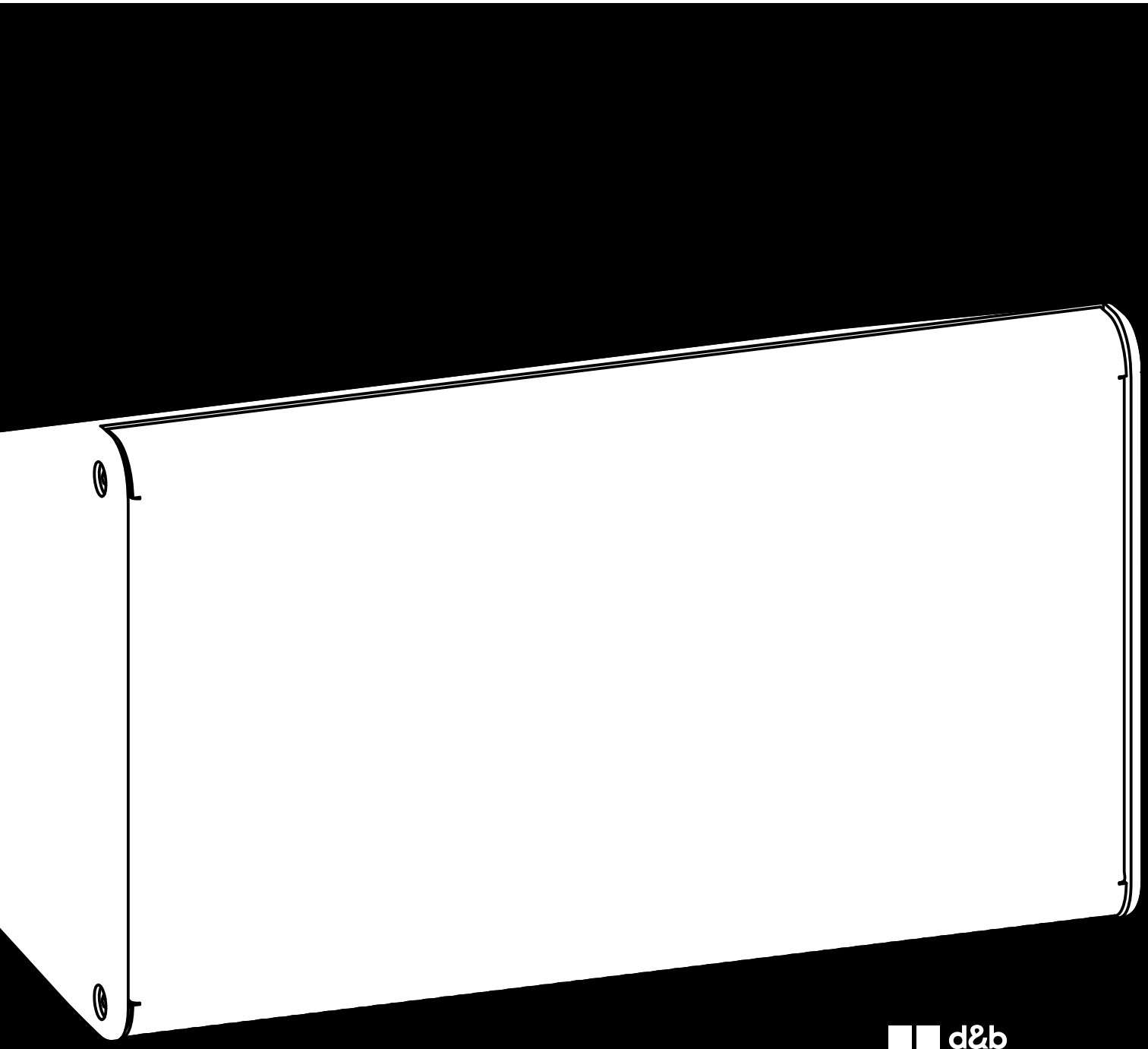
xS

42S
マニュアル 1.1 ja



d&b audiotechnik

ドキュメントバージョンに関する注記
バージョン 1.1:
初版

概説

42S マニュアル

バージョン 1.1 ja, 04/2026, D2635.JP .01

Copyright © 2026 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00
docadmin@dbaudio.com, www.dbaudio.com

目 次

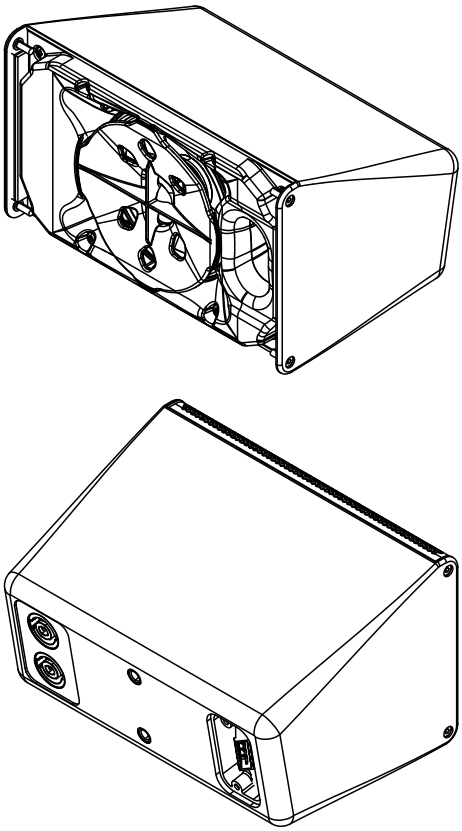
1 安全上の注意 **4**
2 42S ラウドスピーカー **5**
2.1 使用用途 5
2.2 コネクター 6
2.3 使用 7
2.3.1 コントローラーの設定 7
2.4 指向特性 8
2.5 技術仕様 8
3 製造者宣言 **10**
3.1 ラウドスピーカーの適合性 10
3.2 WEEE 宣言（廃棄について） 10

人体に傷害をもたらす可能性があります。
大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約 95dB の音圧レベル SPL から）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリーは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびリギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリーの正しい使用法および最大荷重量に注意を払って行ってください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリーは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

機器の故障を引き起こす恐れがあります。
ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損傷の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、 1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。



2.1 使用用途

注意!

d&b ラウドスピーカーには正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法では、ラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあり、システムの持つ指向特性を充分に発揮できません。

推奨されるアンプ：
D90/D80/D40/D25/5D/5DM/25D/40D

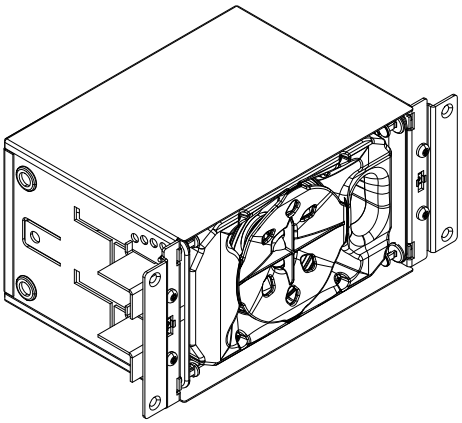
製品説明
42S は、非対称的なキャビネットの形状を特徴とした、広指向性の超コンパクトなラウドスピーカーです。42S は水平設置でフロントフィルとして使用することができます。

これは 2 ウェイ・パッシブ設計で、バスレフ方式を採用した 1 つの 4.5 インチ LF ネオジウム・ドライバーと、CD ホーンにマウントされた 1 つの 0.75 インチ HF ドーム・トゥイーターで構成され、指向特性（水平 x 垂直）は 120° x 90° です。

周波数特性は 77 Hz から 20 kHz です。
このラウドスピーカーは単独システムとして、また対応する d&b サブウーファーと組み合わせてご利用いただけます。

射出成形によるエンクロージャーは耐衝撃塗装仕上げです。キャビネットの前面はがっしりとしたメタルグリルで保護されています。

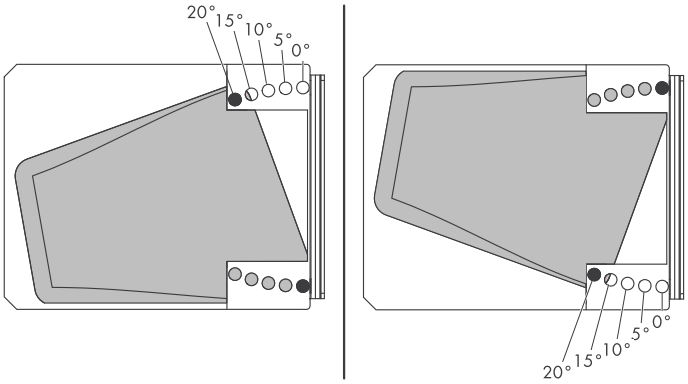
異なるリギングアクセサリを取り付けられるように M8 ネジ受けインサート 2 個がバックパネルに埋め込まれています。



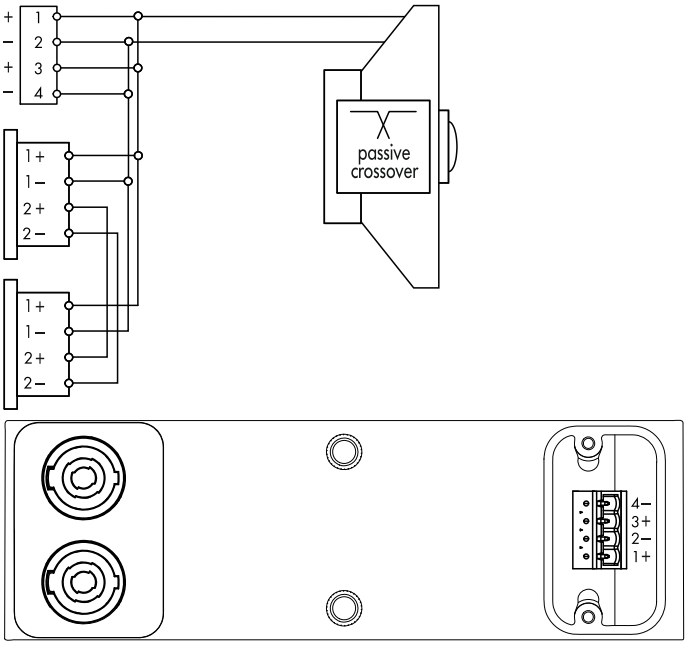
Z5429 42S Backbox オプション

オプションの d&b Z5429 42S バックボックスは天井や壁へラウドスピーカーを水平または垂直位置に同一平面に設置するためのソリューションとしてご利用いただけます。バックボックスの高さが 140 mm と低く抑えられているため、段状 取り付けに理想的です。

バックボックス内でラウドスピーカーを 5° 刻みで 20° まで調整することができます。



メモ: ⇒ 8 ページの 2.5 章 「技術仕様」.... を参照ください。 ⇒ 「同一平面取り付け」（9 ページ）、またバックボックスに同梱されている Z5429 取り付け方法も参照してください。



コネクターの結線

2.2 コネクター

キャビネットには一対の NL4 M コネクターと、4 極 Phoenix Euroblock ターミナルブロックが取り付けられています（線断面積最大 2.5 mm^2/AWG 13）。

対応する 2 極 Phoenix プラグ（Phoenix MSTB 2,5/ 2-ST-5,08）がキャビネットに同梱されています。

双方の NL4 M コネクターの全 4 本のピンは並列に接続されています。

キャビネットは 1+/1- のピン配列を使用します。

2+/2- ピンは対応する d&b サブウーファー用です。

2.3 使用

アンプのアウトプットモード： Dual Channel または Mix TOP/SUB		
用途	**設定**	**アンプチャンネルごとのキャビネット**
42S	42S	8 5D/5DM **の場合*** ▯ 推奨 4 ▯ 最大 6

***注記：**d&b 5D/5DM アンプをご使用の場合は、リンクオプションの確認に «Power share calculator» もご利用ください。

2.3.1 コントローラーの設定

音響特性を調整するためには CUT、HFA、CPL 機能を選択できます。

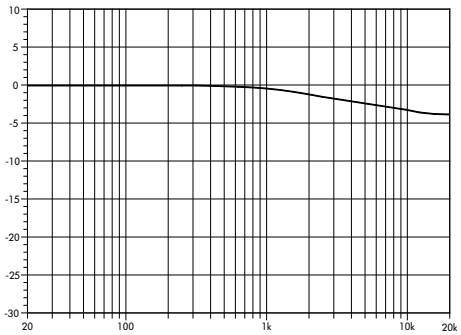
CUT モード

CUT に設定すると、キャビネットの低域レベルが減少され、キャビネットは使用可能な d&b サブウーファーと組み合わせて使えるように設定されます。

HFA モード

HFA（高域減衰：High Frequency Attenuation）モードではシステムの高周波数特性は、ロールオフします。HFA は、ラウドスピーカーが聴衆に近接したニアフィールドに設置される時やディレイ用途の場合、自然で均一な周波数特性を提供します。

高域の減衰は 1 kHz から徐々に始まり、10 kHz でおよそ 3 dB 減衰します。このなだらかな減衰は、残響が多い空間や客席でシステムから離れて音を聴くときに体感する周波数特性の変化とよく似ています。



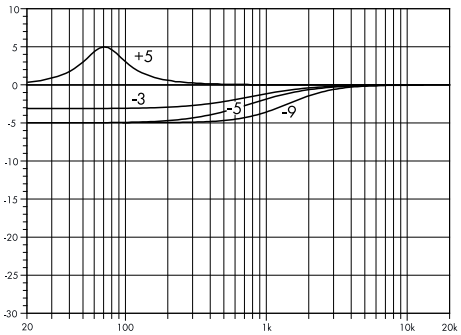
HFA モードの補正周波数特性*
*スケマティックダイアグラム

CPL 機能

CPL（カップリング）機能はラウドスピーカーが個別設置されているか、同一平面上にマウントされているかに応じて異なる音響特性を補正するものです。

CPL は最大 -5 の減衰値から 1 kHz の域で徐々に始まり 200 Hz 未満で最大の減衰がかかります。より高い減衰値 -9 までは、フィルターコーナー周波数が徐々に高くなり、その間は 5 dB の減衰が維持されます。

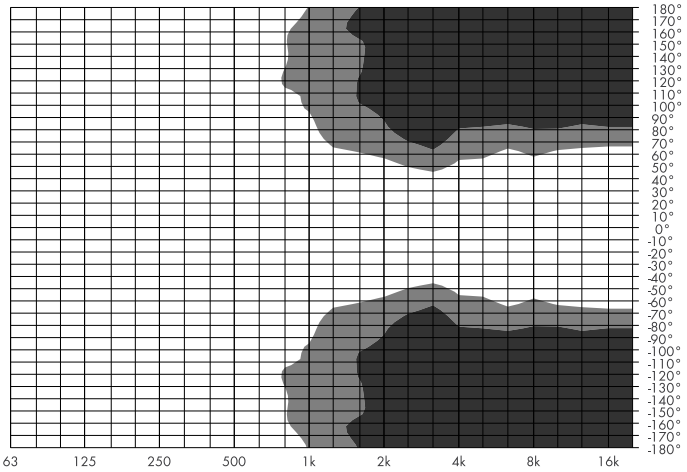
CPL 値をプラス数値（0 ～ +5 dB）にすると、およそ 70 Hz の低域を盛り上げることができます。この数値は、システムをサブウーファーを使用しないフルレンジモードで使用する際に設定できます。



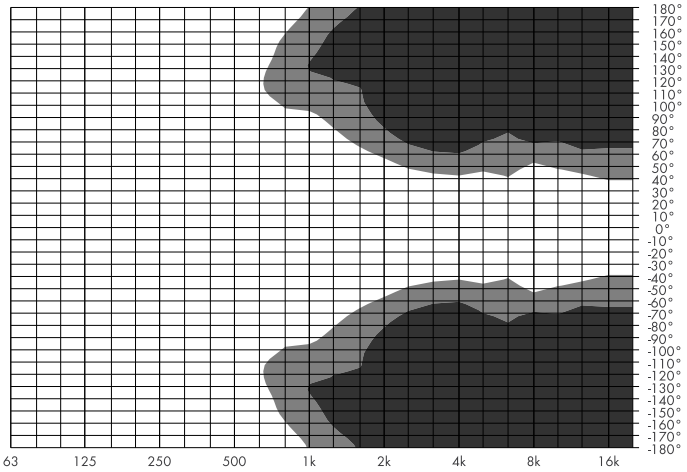
CPL 機能の補正周波数特性*
*スケマティックダイアグラム

2.4 指向特性

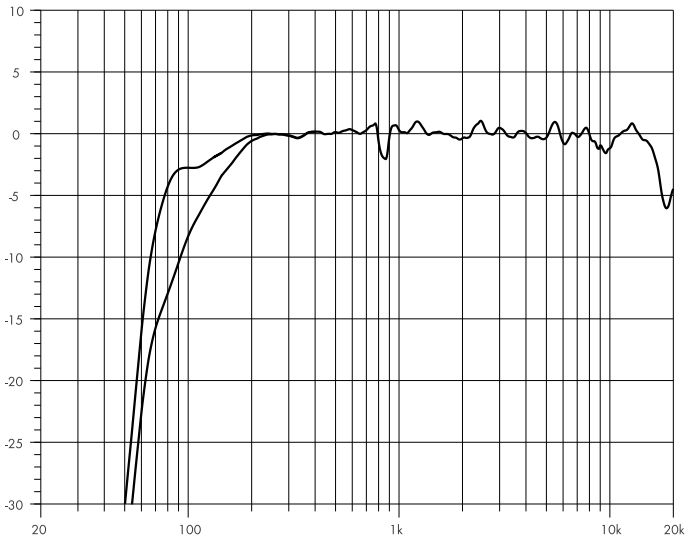
下のグラフは、単独のキャビネットの周波数における指向角度を、-6 dB と -12 dB の音圧を線に置き換えた等圧線（アイソバー）で表示しています。



42S アイソバー、水平



42S アイソバー、垂直



42S 周波数特性　標準、CUT 設定

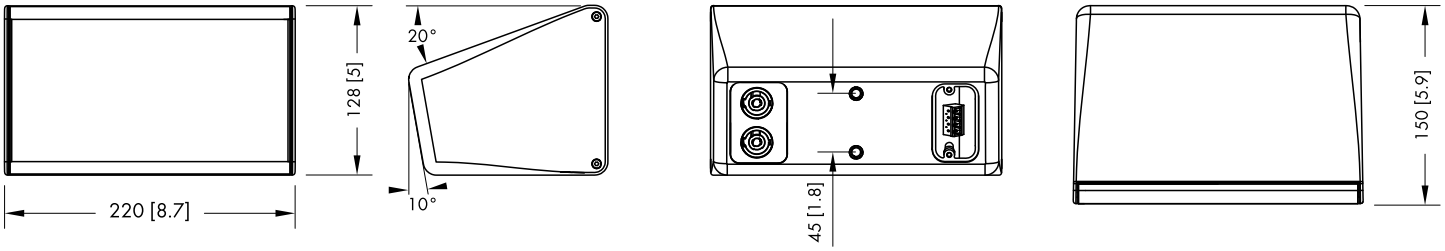
2.5 技術仕様

システムデータ

周波数特性（-5 dB 標準）.....77 Hz - 20 kHz
周波数特性（-5 dB CUT モード）.....130 Hz - 20 kHz
周波数特性（-10 dB 標準、IEC60268）.....65 Hz - 23 kHz
周波数特性（-10 dB CUT モード、IEC60268）.....93 Hz - 23 kHz
最大音圧レベル（SPL）（ピーク、1 m、自由音場、クレストファクター 4 のピンクノイズ）.....
D90/D80/D40/D25/5D/5DM/25D/40D と併用した場合.....117 dB
10D と併用した場合.....115 dB

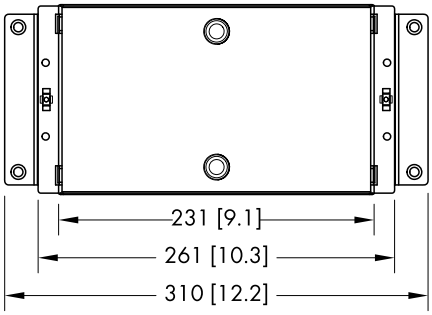
ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス.....24 Ω
定格出力（RMS/ピーク 10 ms）.....75/250 W
指向角度 (水平 x 垂直).....120° x 90°
コンポーネント.....1 x 4.5″ ネオジミウム磁性体構造ドライバー
.....1 x 0.75 インチドームツイーター（CD ホーン上に取り付け）
.....パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター.....4 ピン Phoenix Euroblock および 2 x NL4 M
.....Phoenix プラグ（タイプ：MSTB 2,5/ 2-ST-5,08）
ピン配列.....Phoenix：1: + / 2: - / 3: + / 4: -
.....NL4 M：1+/1-
重量.....1.6 kg (3.5 lb)
バックボックスを含む重量.....3.6 kg (8 lb)

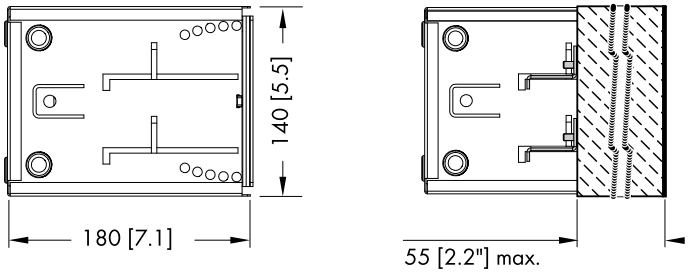


42S キャビネット寸法 mm [インチ]

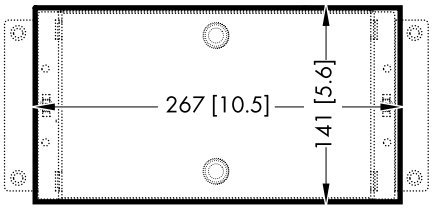
同一平面取り付け



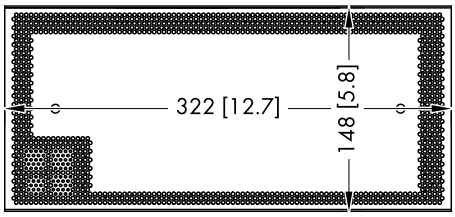
Z5429 42S バックボックス正面図、寸法 mm [インチ]



Z5429 42S バックボックス側面図および最大壁厚、寸法 mm [インチ]



Z5429 42S バックボックスカットアウト、寸法 mm [インチ]



Z5430 42S バックボックスグリル（カバーグリル）、寸法 mm [インチ]

注記：42S バックボックスに同梱されている Z5429 取り付け方法も合わせてご覧ください。

3.1 ラウドスピーカーの適合性

この宣言は、以下の製品に適用されます。

- **d&b Z1660 42S ラウドスピーカー**

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG.

製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が該当する指令の規定条項（全ての修正を含む）に準拠していることを宣言いたします。

該当する宣言の詳細は、d&b にご要請頂くか、www.dbaudio.com の d&b ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

3.2 WEEE 宣言（廃棄について）



電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg.-Nr. DE: 13421928

D2635JP.01, 04/2026 © d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

www.dbaudio.com

d&b audiotechnik